

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172900862		
法人名	有限会社 シエナリゾート		
事業所名	グループホームことぶき ユニットⅡ		
所在地	北海道旭川市3条通21丁目1973番10		
自己評価作成日	平成26年11月17日	評価結果市町村受理日	平成27年1月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kan1=true&JigyosyoCd=0172900862-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジエント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成26年12月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出支援・・・四季折々に外出をし、気分転換、五感刺激、体力保持に散歩などに努めています。(河川敷の野鳥観察・花見・いちご狩り・秩父別バラ園・上川神社祭・15丁目七夕・美瑛の丘・紅葉狩り・すし外食・公会堂や文化会館へ演芸鑑賞、他)
施設内の行事・・・日本古来からの風習に添った行事は一年を通じて行なっております。(初詣・百人一首・節分豆まき・ひな祭り・端午の節句・七夕飾り・夏祭り盆踊り・敬老会・お彼岸のおはぎ作り・15夜飾り・冬至かぼちゃ・クリスマスなど) ボランティアさんによります 演芸など多種多様に年間数回を催しております。
食事は個々の要望を取り入れながら職員が献立をし買出しから調理まで、家庭菜園で採れた野菜と農家さんから旬の野菜を求め、固さ、味付け、盛り付けに配慮しています。(漬物時期には入居者さんと大根の皮むきから包丁作業も一緒に行なっております)
入居前からの風習を大切にし、個々の体調を活かしながら日々の暮らしを支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

＜継続的に実施している外出支援と楽しみごとの取り組み＞
入居者の体力保持や気分転換を図るため、一人ひとりの体調とその日の希望にそって、四季折々の河川敷の野鳥観察や美瑛の丘、秩父別のバラ園、すし外食、文化会館の演芸鑑賞、各地域のお祭り見学など活いきと過ごせるように工夫された外出支援となっている。また、楽しみごとの場面作りとして、節分豆まきやひな祭り、七夕まつり、敬老会など多種多様の日本古来から続いている行事を1年を通じて催し、張り合いのある日々の暮らしにつながる支援をしている。
＜共用空間における工夫と配慮＞
入居者が多くの時間を過ごす共用ホールの壁や廊下には、四季ごとの行事の写真や季節感のある花を飾るなど生活感を採り入れている。同時に、家庭的な雰囲気을大切に、自由にくつろげるスペースの確保やソファ、テーブルを配置し、テレビ鑑賞をしたり、入居者同士が談笑するなど居心地のよさや張り合いのある一日を過ごせる工夫や心身の活力を引き出すために生活環境を整えているのが特徴的である。

Ⅴ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	独自の理念を掲示し毎朝のミーティングを通じて話し合い意識しながら実践している	独自の理念をつくりあげ、管理者や職員が、その理念を共有し、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会や包括支援センターと繋がりを持ち、避難訓練や行事に参加を頂き、町内行事にも参加をして交流をしている	町内会に加入し、地域行事に参加して会員として地域の交流に努めている。また、地域の方も事業所の行事に参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の講習に参加をし、実践した経験を元にアドバイスや地域の方に認知症の理解や支援方法などを気軽に提供している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開催時、事業所の取り組みを含め参加者の意見を聴き、緊急時には地域住民の方に協力を求められる様にしている	推進会議では、運営に関する報告や事業所の取り組みと利用状況などの内容について話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市や包括支援センター主催の研修会には参加をして情報交換や協力体制を築く様にしている	市や地域包括センターとは、業務を通じて情報交換で協力体制を築くように取り組んでいる。また、包括支援センター主催の研修会では、情報を共有し、協力関係に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関施錠には、ご家族に予測されるリスクをお話し事業所の取り組み方針を示している	内部研修で周知・共有が行われており、安全確保しながら自由な暮らしを支援するための工夫に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に参加して、その後の内部研修などで言葉づかい、接する態度などの認識をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度の研修会には参加をし、関係者に相談したり繋がりをもちながら支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、契約書に添って、利用料金を含め起こる得るリスク、重度化の対応、解約時、職員体制など説明をし不安の無い様に理解を図っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の意見や要望を聞き取れる様に意見箱の設置や来所時には職員が生活の様子を必ずお知らせをし、密に話し合える雰囲気づくりに配慮している	意見や苦情等を言い表せるような雰囲気作りに努めており、苦情などの意見箱を設置し、相談や改善策の意見があればミーティングを通じて話し合っ対応し、その意見を運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に個人面談を行い職員の提案や気づきを聞き、取り入れている。情報を共有できるように伝言ノートを書き込んでいる	日頃の業務の中で要望や意見を聞いて話し合う機会を設け、職員の働きやすい職場環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の資格取得には支援を行なっている。全員が年休を取りやすく、疲労やストレスには勤務体制に配慮して働く環境を整えている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には順に全員が参加をして、会議の時に内部研修で発表したり、報告書を閲覧して研修内容を共有している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームの行事に入居者さんと一緒に参加し職員間の交流をもっている。旭川グループホームケア研究会に加入し意見交換や情報収集を図り質の向上に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の思いや不安を受け止め、フロアー椅子の座る場所なども配慮し安心して過ごせる環境づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が今、何に困っているか要望を聴き、受け止めながら信頼関係を築く様に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の思い、状況を確認し改善に向けた支援で公民館活動などの社会資源参加を含め、必要なサービス利用に繋げている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食後の片付けや掃除機かけ洗濯機の操作などの出来る事を一緒にを行い、一方的な介護される側にならない様に共同体を築いている		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の思いに寄り添い、職員はご本人とご家族の支援者であり、これまでの両者の関係をいっそう良い関係に築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の友人知人に行事に参加して頂いたり馴染みの場所に外出できる様に支援している	一人ひとりの生活習慣や友人、知人が気軽に来所できる環境を整え、馴染みの場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係は職員が情報共有し、その場に応じて見守り、会話に交じるなどしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も合いに行ったり、ご家族を行事に招待し参加して頂いたり、継続的な繋がりをもち後々も気軽に来所出来る様にしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で声かけをし、要望など把握し、職員同士が連携し、希望、意向に添える様にしている	職員全員が、一人ひとりの思いや意向について関心を払いながら把握し、思いや希望を叶えられるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から以前の生活様子、性格を聞きながら、ご本人らしく生活していける様に支援している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズムを見極めて行動、体調の変化を把握出来る事はしていただき、有する力を現状維持できる様に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の出来る事出来ない事を把握し、ご家族の要望を取り入れ、職員間でカンファレンスを行い介護計画を作成し定期的にモニタリングをしている	日々の生活状況を本人や家族に伝え、意向や要望を取り入れ、カンファレンスやモニタリングで職員間で話し合い、介護計画に反映するよう努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護24時間シートを個別記入、介護日誌にも特別な様子を記入し職員間で情報を共有している。区分変更などにも活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族の要望で外出支援の送迎や、ご本人より買い物外出の要望があった時には、1対1で柔軟に対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	歩行や食事の自立されている5名の希望の方が公民館活動「ふれあいサロン」に送迎し参加されて2時間程、他者との関わりを楽しまれている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係性を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医による定期受診を行ない、ご本人と医師との信頼関係を保ち、安心して生活が出来る様に支援している	入居者や家族の希望により、定期健診や通院で適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等へ伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化や表情の変化を見逃さない様、早期発見に取り組んで適切な医療につなげている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には面会をして、回診時や看護師に状態を聞きながらご家族とも情報交換をし退院に向けた支援を行なっている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化で医療行為が伴う時には、ご家族とよく話し合いをし意向を確認しながら、事業所で出来るところまで支援を行なっている	重度化した場合は、早い段階から本人・家族等と話し合い、医師、職員と連携を図りながら、事業所ができることを十分説明し、医療行為や終末期の対応に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルで夜間帯などの連絡方法を速やかに対応出来る様に備えている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力の元、年2回の避難訓練で夜間想定も行い、職員が入居者さんの誘導などを身につけている。地域住民にも保護協力を依頼している	毎年、年2回の昼間・夜間を想定した避難訓練を実施しており、地域の協力と連携を図りながら取り組んでいる。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを大切に、個々に合った言葉かけをし、さりげないケアを心がけている	日々の生活の中で、個々の人格を尊重し、プライバシーを損なわないように、その人に合わせた言葉かけやさりげないケアを行うよう心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	動作や表情から何を伝えたいのか、声掛けをしながら言葉を引き出す様に心がけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	就寝、起床、食事時間は体調や希望を聞きながら個々のペースに合わせて過ごしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時には好みの服を着ているので、季節に合わせた服装を助言したり、食べこぼし等の汚れが無い確認して身だしなみに配慮している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の好みを聞きながら菜園の野菜を採取したり季節感と新鮮さを楽しめる様にし、大根の皮むき、もやしの髭取り等の下ごしらえを一緒に行っている	自家栽培の野菜や旬の食材メニューを取り入れ、入居者の体調や出来る能力の範囲内で片付けや食事の準備など楽しく食事できるよう雰囲気づくりに努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の体調に合わせて、お粥、刻み、ミキサー食にし分量も調整しながら体調の変化、薬の効能に応じて調理している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨き、就寝前の義歯洗浄を確認し、本人の習慣や能力に応じたケアをし、困難な方には歯磨きティッシュ等を使用し介助を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	夜間でも声かけしてトイレ排泄を誘導している。日中は布パンツ、夜間のみ紙パンツ対応など、個々に合わせた対応をしながら自立支援を行なっている	一人ひとりの排泄パターンを把握しながら、トイレでの排泄を促進し、オムツの使用を減らし自立に向けた支援をしている。また、個々の習慣性に対し介助、見守りをしながら支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便表を記録確認しながら、水分量や運動量に配慮し、時には処方による薬で便秘予防に取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	温度の好みに合わせて、介護員と一対一で、ゆったりと時間を取り、入浴中には会話をしながら楽しんで入れる様にしている	入浴日を設定しているが、一人ひとりの希望や体調に応じた誘導で入浴が楽しめるように支援している。また、入浴拒否の方には、声掛けや対応方法を工夫して、入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣で就寝時間の違いには、見守りしながら訪室して、個々に眠れる様に声かけをし、就寝確認を行なっている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診をし処方の薬の内容、効能、副作用を把握し、記録をして職員間で情報共有している。症状の変化に気付いた時は、即座に医師に確認し指示を仰いでいる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意分野で、調理の下準備、食後の食器洗いから片付け、漬物時期の皮むき、布巾縫いなどに個々の体力に合わせた役割を配慮しながら気分転換をしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の希望により買い物外出、天候によりドライブ、散歩など日常的に出掛けており、四季折々に行事を催して外出している。ご家族との旅行などには、注意点や薬持参に対しての支援を行なっている	入居者の身体状態や一人ひとりのその日の希望にそって、日常的に外出支援をしている。特に、四季が感じられるように季節に合わせた外出行事を事業所の企画で積極的に実施している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物時には、選ぶ楽しみや支払の楽しみを感じられる様に自ら支払をして能力を維持している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	居室に固定電話の方や携帯を所持している方が自らご家族に連絡をしたり、部屋に無い方には、希望の都度、事務所から繋いで連絡を取っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアや廊下には、生花を飾ったり行事の写真を掲示して話しの話題になったりテレビも見やすい位置に置き、ゲームや百人一首を直ぐに出来るスペースを確保している。廊下の端には椅子を置き、歩行の一旦休憩場としている	多くの時間を過ごす共用スペースでは、季節感のある生け花の飾りや行事参加の写真の掲示などで居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、入居者一人ひとりの感覚や価値観を大切にしながらテーブルやソファを配置し、家庭的な雰囲気づくりに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールの自分の椅子で過ごしたり、座敷でソファにてテレビを見たり一人でも過ごせる様に配慮している。食後にも、そのまま団欒の場として会話を楽しませている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	地方からの家族の来所に対して宿泊する時には布団の用意も有り一緒に過ごされる様に支援している。入居の際はこれまでのなじんだ家具や寝具の使用を進め、仏壇も持ち込まれてそのまま生活を送られる様に配慮している、	家で使っていた家具や寝具が持ち込まれ、本人が居心地よく安心して過ごせるよう個別に合わせた居室作りに努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の出来る事、出来ないことを把握し職員が情報共有しながら家事作業や歩行運動などを行い、持っている力を発揮出来る環境をつくっている		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172900862		
法人名	有限会社 シエナリゾート		
事業所名	グループホームことぶき ユニットⅠ		
所在地	北海道旭川市3条通21丁目1973番10		
自己評価作成日	平成26年11月17日	評価結果市町村受理日	平成27年1月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=0172900862-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジエント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成26年12月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出支援・・・四季折々に外出をし、気分転換、五感刺激、体力保持に散歩などに努めています。(河川敷の野鳥観察・花見・いちご狩り・秩父別バラ園・上川神社祭・15丁目七夕・美瑛の丘・紅葉狩り・すし外食・公会堂や文化会館へ演芸鑑賞、他)
施設内の行事・・・日本古来からの風習に添った行事は一年を通じて行なっております。(初詣・百人一首・節分豆まき・ひな祭り・端午の節句・七夕飾り・夏祭り盆踊り・敬老会・お彼岸のおはぎ作り・15夜飾り・冬至かぼちゃ・クリスマスなど) ボランティアさんによります演技など多種多様に年間数回を催しております。
食事は個々の要望を取り入れながら職員が献立をし買出しから調理まで、家庭菜園で採れた野菜と農家さんから旬の野菜を求め、固さ、味付け、盛り付けに配慮しています。(漬物時期には入居者さんと大根の皮むきから包丁作業も一緒に行なっております)
入居前からの風習を大切にし、個々の体調を活かしながら日々の暮らしを支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

Ⅴ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します							
項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の 理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域との関わりの意義を職員全員が意識し、実践につなげている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事には、積極的に参加し、地域住民との交流を深めている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実践経験を活かし、地域行事の機会に認知症の症状の相談を受けたりしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、参加者からの意見、質問を受けてサービス向上に活かしている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターなどの研修場所においては情報を共有し、協力し合い、積極的に取り組んでいる		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修の話し合いの中で、具体的な行為を示し、身体拘束をお行わないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の見過ごしは有りえず、従業者は常に寄り添いながら生活をしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度後、学ぶ機会もあり、専門家の指導を受け、必要な相談があれば活用し、支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時において十分な説明をして、利用者や家族等に退居後の対応方針を含めた説明をし、支援も行なう		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	訪問時のご家族には常に声かけをして、意見を気軽に言っていただける雰囲気づくりに、留意している		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議他、日頃から要望を聞き入れ、問いかけたり、聞き出したりするよう心がけている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個人、個人が向上心を持てる環境を整え、キャリアUP出来る様、職場環境に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内外の研修の情報を収集し、職員会議などで発表し、閲覧出来る様にしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職員が事業所外との交流に努め意見交換し、サービスの質の向上に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の今の状態を把握し、話を良く聞き、信頼関係を保っていく		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とは常に話せる際は話し、困ってる事や、心配事は受け止める様に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、家族の思いを見極め、サービスを可能な限り対応している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人と共に常に共感し合い、支えあって生活出来る様努めている		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には、来た際に常に情報を共有し、支えあえる関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個人の生活習慣、友人、知人等の顔なじみの人達に行事への参加を促している		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関わりに職員も入り、場を楽しくし、場面作りをしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所(病院等)に移られた場合は、支援情報を提供すると共に、情報交換なども行なっています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、職員同士が連携して、一人ひとりの思いや希望を叶えられる様に努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や、家族に今までの生活、暮らしを聞いてより良く暮らせるように支援している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のリズムを見極め、行動や体調の変化を把握する様に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族の訪問時には、日々の生活状況を伝えていて、その他に、ご家族の意見交換やカンファレンスなどを行い、ケアプランやモニタリングを行なっている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日中の様子や変化を個別の記録に記載して、ミーティング等を行い、職員同士で情報を共有しながら実践している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族のニーズに合わせ、可能な限り、臨機応変に対応するようにしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者の心身の状態を考慮しながら、地域資源の活動に参加出来るよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者、家族の希望を尊重し、かかりつけ医に定期受診している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常生活を注意深く観察し、小さな体調の変化を見逃さないよう報告、連絡、相談を密に、行なうよう努力している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族、医師と連携しながら入院によるダメージを少なくするため、出来るだけ早く退院出来るよう心がけている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化にしたがって家族、医師と意見交換しながら、終末期の対応を早めに決められるように心がけている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命の講習などに積極的に参加し、対応出来るよう努力している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の方々にも参加していただきながら、訓練を行なっている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活の中で、個々に対する人格やプライバシーを損ねない様に配慮をし、言葉かけや、対応を行なう様に努めている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけしている	一人ひとりが自由に意思表示が出来る様な環境や、場面作りをし、見守っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人個人の方のペースを大切にし、それに合わせた対応を行ない、また本人の希望にそえる様、支援を心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	1日の身だしなみを確認し、行事、入浴の際、服にも気をつけながら選び、その人らしさを保てる様に手伝い、見守っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑で採れた野菜などは、その日のうちに利用者にも手伝ってもらい調理をして提供し、利用者の働く楽しみや、自信をもってもらう		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の体調などに応じてミキサー食、おかゆ、きざみなど、栄養摂取出来るよう対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨き、うがい、口腔内のふきとりを行い入居者の状況に合わせたケアをしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりに声かけ、確認をし、トイレに誘導し個々の習慣性に対し介助、見守りしながらの支援や周りに気づかれない様な対応を行っている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	服薬介助などの確認をし、水分や食べ物の摂取量などを気をつけて、個々に応じた対応をしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者の体調、希望時間などを聞き入れ確認し、入浴拒否の方には、声掛けや対応方法を職員同士が工夫をして、一人ひとりにあった入浴支援をしている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を考慮し、就寝に向けて安定するよう工夫し、寝つけぬ時は一緒に飲み物を飲みながら会話などをして、安眠出来る様に配慮している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の内容、目的を理解して、正しく服薬出来るように気をつけており、状況の変化があれば医師に指示を仰いでいる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意な分野で一人ひとりの力が出せるように配慮し、食器洗い、調理の下準備などをお願いして手伝っていただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の状態、その日の天候に合わせて買い物や、季節に応じた外出(いちご狩り、紅葉狩り、お祭り)を積極的に行なっている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	行事での外出、買い物時には自分で選んだりお金を支払ったりして、お金のある安心感に配慮している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を設置している方、携帯を所持している方は、自由に連絡をとって、持っていない入居者の方も事務所にて取次ぎお話をされている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアや居室には季節感のある花や、家族さんの写真などを飾ったりして家庭的な雰囲気作りをし、過ごしやすくしている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールのソファや食堂テーブルにてテレビを見たり入居者同士が集まりおしゃべりをしたり、自由にくつろげるスペース作りをしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとりの居室について家で使っていた物をそのまま使ってもらい、その人らしく、居心地の良い、安心して過ごせるような居室づくりをしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者さん個々の現在の状況、状態、活動意欲に応じた生活環境を、職員で話し合い改善に取り組んでいる		

目標達成計画

事業所名 グループホームことぶき

作成日: 平成 26年 12月 19日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	29	毎月1回の公民館活動に参加している方と、心身の力が有るのにも関わらず参加されない方に、出掛けて行って違う環境も感じて頂きたい。	経費がかかる為に、ご家族の意向も配慮しながら無料でも楽しめる資源活動を選出している。	各地区の公民館の活動状況を収集し、ボランティアによって、施設内で楽しめる資源を模索する。	1年
2	48	入居前の地域との関わりを要望される時に、外出の行き先を固定したり時間の制限などで叶える事が出来ない事がある。 冬季間の外出が減ってしまう。	外出時、行き先は個々の要望に沿って出掛けられる様にし、冬季には、博物館、おびつたなどの施設を利用していく様にする。	近隣の保育所や幼稚園のお遊戯会やイベントの参加で新たな連携を求める。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。